氏名（本籍）	小室　譲
学位の種類	博　士（　理　学　）
学位記番号	博　甲　第　9726　号
学位授与年月日	令和　2　年　10　月　31　日
学位授与の要件	学位規則第４条第１項該当
審査研究科	生命環境科学研究科
学位論文題目	Mechanisms for Sustaining the Local Labor Market in International Mountain Resorts: A Case Study of Whistler, Canada （国際山岳リゾートにおける地域労働市場の存立メカニズム　－ カナダ、ウィスラーを事例として－ ）

主査	筑波大学教授	Ph.D.	呉羽　正昭
副査	筑波大学教授	博士（理学）	堤　　純
副査	筑波大学助教	博士（理学）	山下　亜紀郎
副査	筑波大学教授	博士（理学）	松井　圭介

論　　文　　の　　要　　旨

審査対象論文で、著者は能動的に国際移動する外部労働力に着目し、国際山岳リゾートであるカナダのウィスラーにおける地域労働市場存立のメカニズムを解明することを目的としている。

本論文で著者は、欧米諸国のみならず世界のリゾート、とくに国際山岳リゾートでは、訪問者の季節変動と連動し、労働力需要の繁閑リズムが著しく変動することに注目する。また、最近 20 年前後の期間、訪問者数が増加する先進国の国際山岳リゾートでは、リゾート関連施設の増加や高級化が顕著であり、その結果、そこでは労働力需要の拡大が生じていることも指摘する。こうした国際山岳リゾートにおける、繁閑リズムをもちまた増加する労働力需要については、いくつかの既往研究があるが、外部労働力の重要性のみの強調が議論の中心にある。一方、実際にどのように外部労働力を吸引して地域労働市場が存立しているかについては未解明であった。それゆえに、本論文で著者は、第一に地域労働市場の構造を解明しようとした。重要な労働力供給源である能動的国際移動者に注目し、その属性、滞在パターン、移動動機、労働内容などについて、ウィスラーにおいて労働者 90 人弱等に聞き取り調査を実施し、その結果を整理・分析した。第二に、著者は、地域労働市場がどのように存立しているのかについて、社会的調整という概念を用いて説明しようとした。本研究で対象としたカナダのウィスラーは著名な国際山岳リゾートであり、自治体主導の強力なガバナンスのもとで、訪問客増加とリゾート産業の通年化が進み、それに付随して労働力需要が拡大している。他方、土地開発により地価の上昇が生じたことで、家賃や生活費が高騰している。結果は以下のようにまとめられる。

1. 著者の指摘によると、ウィスラーでは、市民権労働者に加えて能動的国際移動者が労働力供給源となっている。さらに、能動的国際移動者の滞在パターンには、定住、定住志向、季節滞在の３種類が存在する。それぞれの労働者が、ウィスラーの労働市場に存在する多様な職階級や雇用形態に対応しており、それにより労働力の需給関係が成立している。

2. 著者は、ビザの保有状態や出身国などの属性、移動動機に注目した分析によって、能動的国際移動者を、異なる生活形態やキャリア経歴、将来の意向を有する複数タイプ、すなわち、「キャリア構築型」「レクリエーション重視型」「賃金・永住権獲得型」に分けた。キャリア構築型は、将来のキャリア構築を重視し、

高い就業意欲を有して経営・専門職に就く。レクリエーション重視型は、ウィスラーでの自身のレクリエーションを優先し、それ以外の時間に就業する。経済移民型は、賃金・永住権の獲得を目的に、主に単純労働に従事し仕事中心の生活を送る。それぞれのタイプの能動的国際移動者はウィスラーに存在する多様なスキル需要に対応するとともに、季節性や時間帯の繁閑リズムにも柔軟に対応している。

3. 著者は、ウィスラーの地域労働市場は、能動的国際移動者による次の 2 つの過程を含む構造を呈することを解明した。すなわち、語学・職業スキルを磨き、昇進や転職、起業を通じて永住権を獲得して定住する過程と、ワーキングホリデー・ビザを有しレクリエーション目的の実現指向をもつ季節労働者として発地国や次の移動先との間を循環する過程とである。

4. 定住・季節滞在という 2 つの過程を含む地域労働市場の存立には、社会的調整が作用している。社会的調整は、地域労働市場に潜在する 3 要素（空間、時間、スキル）のミスマッチを解消する機能をもつ。つまりウィスラーにおける地域労働市場は、ビザ制度等で能動的国際移動が誘引されて空間的ミスマッチが解消され、仕事とレクリエーションの比重差などを背景として時間的ミスマッチが解消され、教育制度や職住支援に基づきスキル・ミスマッチが解消される。これらの社会的調整によって定住・季節滞在の過程がもたらされ、その結果地域労働市場が存立するというメカニズムを著者は示した。

5. 地域労働市場の存立メカニズムの背景には、ビザ等にみられるカナダ政府の外国人労働力に関する制度面、自治体主導の強力なガバナンスや生活環境、スキー場の規模や知名度、リゾート稼働の季節性、賃金レベルの高さなど、ウィスラーやそれを取り巻く地域の地理的条件が影響している。著者は、これらの地域的条件の差異が国際山岳リゾートにおける地域労働市場の地域差をもたらしていると指摘した。

審　査　の　要　旨

本論文の最も特筆すべき独自性は、著者が外部労働力に着目し、国際山岳リゾートの地域的特徴について考察した点である。発展傾向にある国際山岳リゾートでは、その高級化とも相まって、労働力需要は拡大し続けている。これまで訪問者や宿泊・飲食施設の立地に関して国際山岳リゾートを学術的に分析した研究は多いが、本論文で著者は、国際山岳リゾートでの労働力需要の増加や季節変動に注目して、地域労働市場の構造を解明した。また、社会的調整の概念を援用して、空間、時間、スキルの 3 つのミスマッチを解消して地域労働市場が存立するメカニズムを明らかにした。これらの点はツーリズムに関する地理学的研究で新規の重要な成果であると指摘される。また、本論文の成果によって、リゾートの持続性を検討する際に労働力に着目した分析が不可欠であることが学術的に示された点は高く評価される。

本論文は、カナダのウィスラーで行われたフィールドワークに基づいている。著者は、労働者約 90 人に加えて、飲食施設やスキースクールなどの雇用者に対して、自身で丁寧な聞き取り調査を実施した。そうして得られたデータについて、労働者の属性に基づいて整理し、「キャリア構築型」「レクリエーション重視型」「賃金・永住権獲得型」という性格の異なる能動的国際移動者が存在することを示し、それぞれが地域労働市場の中でどのような役割を有しているのかを分析した方法論も優れている。また、本研究はカナダもしくは北アメリカにおける国際山岳リゾートの地域的特徴を示した地誌学的研究としての価値も高い。以上の点から、本研究は国際山岳リゾートに関する重要な研究として位置づけられ、博士論文として十分な価値があると認められる。

令和２年９月１８日、学位論文審査委員会において、審査委員全員出席のもと論文の審査及び最終試験を行い、本論文について著者に説明を求め、関連事項について質疑応答を行った。その結果、審査委員全員によって合格と判定された。

よって、著者は博士（理学）の学位を受けるに十分な資格を有するものとして認める。